

【助産診断・技術学】

科目名	助産診断・技術学Ⅱ分娩期	講 師 名	① 専任教員 (25)	学 年	1	履 修 期	第1学期
単 位	2 単位		② 岡山医療センター助産師 (6)				
時間数	45 時間		③ 教育主事 (14)				
講師実務経験	①助産師としての実務経験あり ③助産師・看護管理者としての実務経験あり						
授業概要	分娩期における助産過程の展開に必要な診断と技法および助産の実践に必要な基本技術を習得する。						
授業科目目標	1. 正常な分娩経過を理解し、正常からの逸脱の予防と異常の早期発見、正常な分娩経過を促進するための知識と技術を習得できる。 2. ハイリスク症例の分娩を適切に支援するための知識と技術を習得できる。 3. 経膈分娩の生理を踏まえて、安全な分娩介助技術を習得できる。						
授業内容	講師① 25 時間 (試験 1H 含む) 第 1～5 回 1. 分娩期の助産診断と助産過程の展開 (演習)  第 6～9 回 2. 分娩期の正常から逸脱の診断とケア  第 10～11 回 3. 分娩介助技術の理論  第 12 回 4. 異常分娩の助産診断とケア 1) 無痛分娩 (麻酔分娩) のケア  講師② 6 時間 第 13 回 2) 帝王切開の母児のケア 第 14 回 3 双胎の経膈分娩の取り扱い 第 15 回 4) 吸引分娩時の介助法  講師③ 14 時間 第 16～22 回 5. 分娩期の臨床推論  終了試験 1H					講義 (事例演習) 講義           講義           講義 演習 演習           演習	
評価方法	1. 筆記試験 80 点 (講師① 70 点、講師② 10 点) 2. 助産診断記述テスト 20 点 (講師③)						
テキスト	助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期 医学書院 助産師基礎教育テキスト第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア 日本看護協会出版会 マタニティ診断ガイドブック 第 6 版 医学書院						
参考書	今日の助産 南江堂 胎児心拍数モニタリング講座 メディカ出版 分娩介助学 第 2 版 医学書院 分娩のしくみと介助法 MEDCAL VIEW 産科診療ガイドライン 2020 硬膜外無痛分娩 安全に行うために 改訂 3 版 南山堂						
学生へのメッセージ	本講義では、事前学習が前提となって講義が進みますので、しっかり準備をして講義に臨むと理解が深まると思います。本講義後半の「臨床推論」では、臨床推論に至るまでに学んだことを臨地実習で活用できるよう統合し、分娩期における助産師の思考を学びます。						